

ご利益 家業繁栄 縁結び 防災 開運

たてやま

立山(雄山)

日本三霊山のひとつともされる信仰の山、室堂から雄山、大汝山への登山道をたどると第一級の山岳展望が迎えてくれる



▲雄山への石ゴロの道に登る

標高3003m
富山県

歩行時間

1日目/約2時間
2日目/約4時間

標高差

553m

問合せ先

大町市役所 ☎0261-22-0420
立山黒部アルペンルート ☎076-432-2819

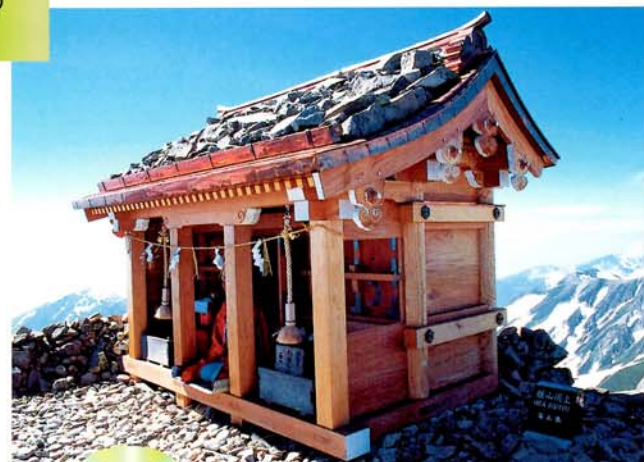
登山適期

7月~10月

立山開山には諸説あるが、伝承によれば今から1300年ほど前、越中守佐伯有若の嫡男有頼という少年によって大宝元年(701)に開かれたとされ、平成13年(2001)には開山千三百年祭が催されている。有頼は父が大切にしていた白鷹で鷹狩りに興じていたが鷹が逃げてしまい必死に追いかける。その途中、山中で熊に出会い弓を射ると矢はみごと胸に命中。有頼が傷ついた熊を追いかけて岩穴に踏み込むと、岩穴のなかに胸に矢がささった金色に輝く阿弥陀如来が立っていた。阿弥陀様は「白鷹も熊も、立山神の化身」と告げ、有頼に立山開山を命じたという。この岩穴は室堂にある玉殿岩屋であるとされ、有頼は名を慈興と改め、**立山大権現**を建立したといわれている。

立山・雄山山頂に立つ
雄山神社峰本社

▲雄山山頂に立つ雄山神社峰本社は、立山信仰の中心的存在である雄山神社の奥宮。ご祭神に、家業繁栄・縁結びにご利益ある伊邪那岐神、諸難防災・開運にご利益ある天手力雄神が祀られる現在の祠は、平成8年(1996)に再建されたもの。境内に敷き詰められた玉石は、登拝者が祈願成就のため山麓の河原から拾った石に願い事を書いて神社に納めたものだ。神殿右端の前にある平たく大きな石が雄山の標高基準になっている

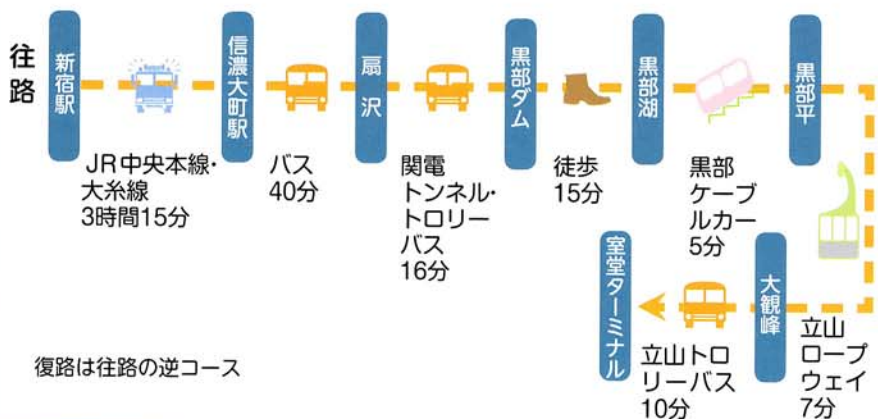


Power Spot

▲主峰の雄山山頂には雄山神社峰本社が立つ。雲海から昇る御来光を拝んだらお参りしよう。山頂からの眺望はささぎるものが全くなく絶景の一言

アクセス情報

新宿駅から電車、バス、ケーブルカー、ロープウェイ利用で



地肌には数多くの硫気孔があり水蒸気を噴出している。

地獄谷からは分岐を右折して雷鳥平に向かおう。雷鳥平からは室堂のカール状の地形から立山まで遮るものがない眺めが広がる。血ノ池を過ぎてしばらく進むと、開山伝説のある玉殿岩屋があり、ここから室堂ターミナルまでは遊歩道を歩いてほんのわずかな距離だ。



▲吹き上げる水蒸気、プツツと泡立つ地獄谷は名前のとおり地獄のような景観

ことができる。

宿泊施設に荷物を預けたら、雨具や簡単な非常食だけをもって出発しよう。室堂ターミナルから整備された遊歩道を進むと右手にミクリガ池が見えてくる。室堂のシンボリックな池は、周囲約630m、水深約15mの神秘的な湖で室堂にある4つの火口湖のなかで最大のものだ。湖の周囲はミヤマクロユリなどが咲く高山植物の宝庫で、運が良ければ雷鳥の親子の姿も見ることができる。

ミクリガ池から左に下る長い石段を下ると、硫黄の匂いがしてきて地獄谷に着く。地獄谷は、爆裂火口で周囲約1.5kmの平坦な窪地に大地獄や小地獄が点在、荒涼とした

【2日目】 室堂ターミナル-1時間10分→ノ越-1時間→雄山-20分→大汝山-20分→雄山-40分→ノ越-50分→室堂ターミナル

室堂ターミナルから立山室堂山荘に向かう遊歩道歩き、立山室堂山荘の手前で出会う登山道を右に進みノ越をめざす。立山連峰や大きく広がる残雪を抱えた室堂を背景にチングルマやハクサンイチゲなどのお花畑を楽しみながら行く。登山道は右手

ミクリガ池は北アルプスで最も美しい火口湖といわれ周囲約630m、水深約15mある



▲室堂には誰でも歩きやすい遊歩道が整備されている

コースガイド

室堂から雄山、大汝山を往復する山岳展望コース

立山は、昔から山岳信仰の山として、多くの登拝者が訪れる日本三霊山のひとつである。立山という名を冠した頂きはなく、最高峰である大汝山、雄山神社峰本社の立つ雄山に富士ノ折立を加えた総称として立山の名前が使われている。また、立山三山と呼ぶ場合は、立山に浄土山、別山を加えた山を指し、その周辺の山々と合わせて立山連峰ということもある。

立山の魅力は、中部山岳国立公園の北に位置するため多くの野生動物や高山植物が見られること。室堂周辺には、開山伝説に登場する佐伯有頼が阿弥陀様に会ったという玉殿岩屋や火山が造り出した神秘的な火口湖、火山性のガスを噴き出す地獄谷があり一日では回りきれないほどの散策スポットがある。

昔から立山に登拝するということは、雄山神社峰本社の立つ雄山に登ることをいう。ここでは室堂から雄山に登って最高峰の大汝山を往復するコースを紹介する。

【1日目】 室堂ターミナル-15分→ミクリガ池-15分→地獄谷-40分→血ノ池-25分→玉殿岩屋-15分→室堂ターミナル

どこから訪れても宿泊地である室堂ターミナルに到着するまでは、乗物の種類や乗り継ぎも多く長旅になる。1日目は、翌日の立山登頂を期して室堂散策で標高に身体を慣らすことにしたい。標高2450mに位置する室堂には散策路が整備されている。室堂を一周するハイキングなら2時間ほどで回る

▼石畳とお花畑のなかを登る





◀雄山と浄土山の鞍部にあたる一ノ越

▼雄山から大汝山に向かう岩ゴロの登山道



に浄土山を見ながらの登りとなる。このコースは、石ゴロの雪渓を横切るような足場の悪いところもあるが危険箇所などはない。登山道の勾配がだんだんきつくなってきて一汗かくと、石積みのある祠のある祓堂に着く。さらにひとガンバリすると浄土山と雄山の鞍部、一ノ越に着く。一ノ越山荘が立つ一ノ越からは、東側の展望も開けてきて、天気が良ければ北アルプス南部の奥穂高岳や槍ヶ岳などの山々も望める。

一ノ越からはすぐに急登が始まり、雄山への登りは石ゴロの多いザレ状の急斜面をペンキで付けられた印をたどって、ゆっくり慌てず登る。高度が上がるにつれて、どんどん眺望も開けてきて、二ノ越から五ノ越までである道標に励まされて行くと雄山山頂に到着する。

雄山山頂には、雄山神社社務所や峰本社



▲一ノ越からの展望もすばらしい

があり、祝詞をあげていただきお祓いを受けることもできる。峰本社にお参りしたら立山の最高峰である大汝山に向かおう。雄山神社の鳥居の手前を少し下ったところから大汝山のコースに入る。

室堂を眼下に進む、稜線の西側に付けられた登山道は刃岳の岩峰が手に取るように望める山岳展望コースだ。

大汝山山頂は登山道の右手にある尖塔状の岩場だ。黒部湖を見下ろすこともできる山頂からの展望を楽しんだら、往路の雄山を経て室堂ターミナルに下山する。

ご利益みやげ

かつて登拝者は下山するときに赤い長旗をみやげとして買ったり、あるいは赤い長旗を立てて下山したという。現在は峰本社神殿前で登山安全のご祈禱を受けると、20cmほどの「立山頂上雄山神社」の赤札が授与され、鈴が付いているので「鈴旗」と呼ばれザックなどに付けて下山する姿が見られる。また、開山縁起に出てくる白鷹と黒熊を圖案化した立山牛王札も記念になる。



宿泊情報

立山室堂山荘

室堂のターミナルから歩いて10分ほどのところにある宿泊施設。立山の主峰が目に見える展望風呂では、天気がいい日は満天の星を見ながら登山の疲れを癒せる。お風呂は日帰り入浴（700円）も可能。

DATA

☎076-463-1228 4月中旬～11月下旬営業・要予約 宿泊料金は相部屋、個室利用、シーズンなどにより異なるので電話にて確認のこと



らいちよう温泉雷鳥荘

奥大日岳の見晴らしの良いところに立つ宿泊施設。高台にある雷鳥荘からは雷鳥沢と左手に地獄谷が見えるロケーション。館自慢の源泉かけ流しの展望浴場からの雄大なパノラマが疲れた身体を癒してくれる。夏の雷鳥沢周辺には高山植物が一面に咲き、天然記念物ライチョウも見られる。

DATA

☎076-463-1664 1泊2食8800円～（他に入湯税150円が必要）4月中旬～11月下旬営業



直営・大汝山休憩所





立山の主峰、雄山山頂。ゴツゴツとした山容が北アルプスの岩山を象徴しているようだ



歩きやすい遊歩道が一ノ越山荘まで続く



一ノ越から足場の悪い急登を行く



静かに水をたたえるミドリガ池



立山

日帰り・1泊/電車orマイカー利用

●標高3003m

●初心者向

●全歩行時間5時間30分

富士山、白山とともに日本三霊山に数えられる。近代登山発祥の地でもあり、高山植物の宝庫でもある。もともとは山岳信仰の山として開かれたの室堂まで誰でも行くことが可能だ。室堂周辺には設備の整った小屋が建ち大きなキャンプ場もある。夏シーズンもいいが、紅葉の始まる9月下旬〜10月上旬もおすすめ。全山が朱や黄の衣を重ねたように美しい。

インフォメーション

★電車でのアクセス
JR大糸線信濃大町駅下車。ここから扇沢行きのバスを利用、終点下車。新宿駅〜信濃大町駅/特急3時間30分/7440円。名古屋駅からは松本駅で各駅に乗り換える。名古屋駅〜信濃大町駅/特急・各駅3時間5分/6500円。信濃大町駅〜扇沢/バス40分/1330円。新宿駅から直通する特急は少ない。

★登山アドバイス
本書紹介ルートは観光客が気軽に登ってしまうものだが、スニーカーでは危険。必ず軽登山靴を利用する。また、3000m峰のため雨具もあつた方が無難。

★クルマでのアクセス
長野自動車道豊科ICを出たら、そのまま直進して国道147号線に入り大町、糸魚川方面へ走行する。JR大糸線と並行して走る国道で、別名千国街道といわれる古い街道だ。JR信濃大町駅を過ぎ、道標に従って扇沢へ。突き当たりが扇沢。豊科ICから44km。高井戸〜豊科IC/215km/5050円。小牧IC〜豊科IC/202km/5000円。

★駐車場
立山黒部アルペンルートの始発駅扇沢駅には有料と無料の駐車場がある。ターミナルの前が段になっているうち上二段ほどが有料で1日1000円。下は無料になっている。どちらも舗装されていてきれい。有料は300台。無料は450台ほど駐車できる。

★登山適期 7月〜10月中旬
★問い合わせ 大町市観光課 ☎0261-22-0420

立山連峰の大パノラマを満喫しながら室堂へ

扇沢から立山黒部アルペンルートで室堂へ向かう。室堂までトローリーバス、ケーブルカー、ロープウェイ、トローリーバスを乗り継いで行く。合計の乗車時間は40分ほどだが、乗り継ぎ時間などを含めて1時間30分〜2時間が必要。料金は往復で8500円。5日間有効なので連泊してみるのもいい。乗り継ぎの駅には休憩所や食堂、売店などが完備されている。展望台も設置されているので、待ち時間が短く感じられるはず。

室堂ターミナルに到着したら、立山玉殿の湧水という名水をボトルに詰めて出発しよう。石で固められた遊歩道を歩き始める。左前方には立山室堂山荘、右上に一ノ越山荘が見える。上方には山頂が顔を出す。一ノ越山荘までは石を固めた道が続く。20分も歩くと立山室堂山荘前が出る。小屋前は広く、ベンチが設置されている。ここから直進するが、少しずつ勾配がつく。上方に山頂が見え、振り返ると、室堂やミクリガ池方面が眺めら



出発点の室堂ターミナル。正面が主峰の雄山



駐車場はものすごく広い

ノ越山荘。小屋の前からは北アルプスの山並みが一望でき、とくに槍ヶ岳の鋭く尖った山頂の姿が印象的だ。

一ノ越山荘から正面に見える斜面を登って山頂へ行く。石がゴロゴロと転がる斜面の道。浮いた石に乗らないように気をつけながら登る。すれ違いに気をつけること。また、石を落とさないように。ひと登りしたら三ノ越の広場で休憩。ここまで来れば山頂の雄山は近い。

山頂には雄山神社がある。平成8年(1996)、136年ぶりに社殿が建て替えられた。天気さえよければ北アルプスや白山、能登半島、日本海が眺められ、富士山を望むこともできる。山頂からは立山室堂山荘まで往路を戻る。

小さな池と硫黄の臭いが漂う地獄谷を散策する

立山室堂山荘前を通り、ミドリガ池方面へ。きれいに整備された遊歩道だ。前方には奥大日岳、右上には雄山の稜線が広がっている。ミドリガ池とミクリガ池の間を抜けると広場になっている。ベン



荒涼とした趣の地獄谷。硫黄の臭いが漂い所々でポコポコという音をたてている



紅葉の時期に訪れると、夏とは違った風情がある



生まれたばかりの雷鳥も見られる